

杏林

増頁特集号
KYORIN DAIGAKU SHIMBUN
大学新聞

1~3面 井の頭キャンパス開設
来たるべき時代に対応 松田理事長メッセージ
ご寄稿 清原三鷹市長、井上評議員、小塩理事
英知を集めた最高のキャンパス 松田副理事長

4・5面 井の頭キャンパスツアー

6・7面 井の頭キャンパス発教育・研究

8面 井の頭キャンパス周辺情報

9面 卒業生、在学生リレー
食宅便を開発・日清医療食品 齋藤政人さん
外国語学部 大島和希さん
杏林見聞録⑥ 医学部 八木淳一准教授

10・11面 学部・大学院トピックス

12面 連載 金田一教授の研究室から
健康ひとくちメモ、数字でみる杏林大学

井の頭キャンパス開設 特集

全学部 三鷹に集結

総合大学の利点を生かした教育スタート

杏林学園は1966年に杏林短期大学として開学して今年で創立50周年。2年前から建設が進められていた井の頭キャンパスがいよいよ4月に開校します。

八王子キャンパスから移転する総合政策学部、外国語学部、保健学部の新2～4年生と新入生を迎え、約3,500名の学生が新たな学園生活を始めます。三鷹キャンパスの医学部、保健学部（看護

学科看護学専攻）とあわせ全学部が三鷹に集結することで、4学部の連携をより一層強化し、中規模総合大学の利点を生かした杏林ならではの教育・研究がスタートします。

今号は、新たな歴史づくりに踏み出す学園の決意や関係者の期待の声、井の頭キャンパスの建設理念やこれから始まる新たな学び、それに施設の特長などを特集しました。



欧米の伝統校を参考にデザインされた井の頭キャンパス。外装は風格と温かみのあるレンガタイルで覆われている。井の頭図書館、事務部門などが入る本部棟（写真）は、白いラインが美しい御影石の柱が重厚な雰囲気をつくっている

来たるべき時代に対応する教育と環境がここに



学園長・理事長
松田 博青

井の頭キャンパスの建設にあたっては、工事関係者はもとより三鷹市等の行政、地元の方々にも多大なご協力とご理解を賜りました。おかげさまで予定通り4月に開校を迎えることができ、厚く御礼申し上げます。

待望の校地を取得

キャンパス移転は2年半前のあ

る日、知人から「近くに売却予定地がありますよ」と情報をいただいたのがきっかけで、「今しかない」と購入を決断しました。

八王子キャンパスは土地も広く環境に恵まれており、私なりに心をこめてキャンパス内の整備を進めてきたつもりですが、一方で、学生の通学の利便性を図るとともに、医学部を持つ総合大学として一体感を持ち、目の行き届いた教育をするにはどうしたらよいか、10何年も前から最適な校地が都内のどこかにないか探し続けていました。

次代に対応したキャンパス

井の頭キャンパスは安全最優先で全棟免震構造とし、進展する教育の

ICT化への対応、学生の主体的・能動的な学修のためのアクティブラーニングシステム、留学生受け入れ等の国際交流など先を見越した構想のもとで造られ、地（知）の拠点として、また社会のグローバル化の潮流にも的確に対応したキャンパスです。あとはこのキャンパスを舞台にどのような教育や研究を行っていくかにかかっています。

学びの拠点として社会に貢献

現在、跡見学長を中心に、文科省プロジェクトに採択されたグローバル教育や地域からの学びなどが精力的に進められ、新キャンパスで1年生が学部の垣根を越えて一緒に学ぶ新たな教育方針が示

されています。

これらの教育改革をどう充実させていくかは現場の教職員に委ねますが、一つだけ申しておきたいのは、大学は社会の外で超然としている存在ではないということです。

情報の発達に伴い、勉強の仕方、生活、働き方、価値観などが変わってきていますが、大学に何が求められているのかを把握し、社会の変化に対応できるものが生き残る時代と思われます。

大学の教育・研究の質、病院の医療の質を高め、社会に貢献することが杏林学園の存在する意味であることを私どもはしっかり受け止め、これからの学園の発展とともに歩んでまいりたいと願っております。

井の頭キャンパス開設がもたらす新しい価値の創造



三鷹市長
清原 慶子

学校法人杏林学園が創立50周年を迎えられる今年、井の頭キャンパスが開設されますことを心からお慶び申し上げます。

三鷹市では、市「民」の皆様、大「学」研究機関、「産」業界、「公」共機関による「民学産公」の協働の取り組みを推進しています。杏林学園の松田博青理事長には、平成17年10月に開設したNPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構の副理事長を発足時よりおつとめいただいています。

また、杏林大学医学部及び付属病院の皆様には、三鷹市、三鷹市医師会、地域

包括ケアセンター等と連携して認知症連携の取り組みや在宅医療の多職種連携に参画していただいているとともに、保健学部、総合政策学部、外国語学部の先生方にも市の審議会等の委員としてご活躍いただいています。

さらに、平成25年からは、跡見裕学長のリーダーシップのもと、杏林大学が文部科学省「地(知)の拠点整備事業(COC事業)」に採択され、教員の皆様のみならず学生の皆様の地域に関する研究・教育・地域活動の分野が広がりを示しつつあります。

このたび、井の頭キャンパスが開設されることにより、地域関連の授業や大学関係者による地域貢献活動の機会が今まで以上に増えることによって、市民の皆様との交流が深まり、魅力と活力があふれる「新しい価値の創造」がもたらされることを大いに期待しています。

井の頭キャンパスの開設に向けては、

平成25年9月に、教育、生涯学習、まちづくり、産業や文化の振興、健康、福祉など多様な分野での協働について、三鷹市と杏林大学との間で包括的な協定を結びました。そして、三鷹市の副市長と松田剛明副理事長をはじめとする職員間の連絡会を設置し、大学周辺の公共交通機関の整備や大学と地域との関係など多岐にわたる課題について協議を継続してきました。

井の頭キャンパスの開設により、これまでの健康・福祉分野に加えて、国際化や観光、地域活性化など、教職員の皆様には、培った専門性をご経験を活かした総合力を発揮していただくとともに、学生の皆様には、若くて柔軟な発想力と行動力により、三鷹市に新しい風を吹き込んでいただけるものと思います。

地域において、幅広い分野で大学との協働が広がることは、市民の皆様の元気を創造し、魅力とにぎわいのあるまちづくりが進むものと考えます。

私は、井の頭キャンパスの開設を心から歓迎するとともに、杏林大学がますます発展されますことを確信しています。

新たな飛翔に期待



学園評議員
井上 孝美

放送大学教育振興会顧問、元文部事務次官。平成12年10月より杏林学園評議員

学校法人杏林学園は創立50周年を迎え、杏林大学八王子キャンパスを三鷹市下連雀に移転して、新たに杏林大学井の頭キャンパスとして、本部、保健学部、総合政策学部及び外国語学部の校舎を建設整備して、この度竣工を迎えられたことは、誠に慶賀にたえません。

永年、評議員として、杏林大学の充実

発展の状況を見守ってきた者として、少子化の進行による大学の厳しい競争時代を迎えて、松田博青理事長の卓越したリーダーシップの下に、「百年の計」を考慮して、付属病院施設の計画的整備を進めるとともに、井の頭キャンパスの校地の取得及び校舎の建設整備を短期間に実現したことは、驚嘆すべきことだと思います。

井の頭キャンパスの施設整備と同時に、大学の教育改革を進め、全学の連携協力の下に、教養教育の格段の充実により、教養豊かで高い専門知識を併せ有する人材育成に取り組むことは、杏林大学生に夢と希望をもたらすものと考えます。

また、グローバル化時代に適切に対応できるグローバル人材の育成は、文部科学省の補助対象事業に選定されて、積極的に取り組まれ、日本語、英語及び中国

語が堪能な優秀な人材の育成が期待されています。

さらに、杏林大学の付属病院は先端医療技術を有する病院であり、多摩東部及び都区内西部地域における中核病院として、地域医療に非常に大きく貢献しています。特に、高度救命救急センターは救急患者を全て受け入れることで大変評価が高く、地域住民に大きな安心感を与えています。今後、最先端の医療機器を導入することにより、更なる充実発展が期待されます。

杏林大学は、学園創立50周年を契機に、教育、研究及び医療の一層の高度化によって、新たな飛翔が期待されます。

飛躍のとき来たる



学園理事
小塩 節

中央大学名誉教授、ドイツ文学者。昭和58年9月より杏林学園理事

井の頭キャンパスが完成し、杏林大学はいわば力を一点に集中して、強い飛躍を遂げる時を迎えました。

理事長、学長ほか全学の皆さんの労に感謝し、また心からのお祝いを申し上げます。

実にめでたい創立50周年です。総合

大学として、真の価値を体現し発揮する新しい出発の年の到来であります。

現在、本学の学生数等の規模は、身動きの鈍くなりがちな巨大大学や、経営規模の小さい大学とは違って、安定して独自の学風を創造していく学園形成を可能にしています。

人文系の方々にとっては、今まではいわば純粹空間的な山の上で学問と教育の追求に苦勞してこられたと申せますが、ここ井の頭キャンパスはまるで違います。それも都会の中ということによるのみではなく、多くの人びとの生と死に向き合いながら夜も昼も奮闘している医療・看護従事者に直接触れ、その働きを実際に見、さらにその奥に人間存在の実相を知り、さらにはまた、社会、経済、政治の

深い実相に目を開かれることとなります。

人文系諸学が、理論においても実践においても大きな進歩発展と進化を遂げていただきたい。

医学・看護の教育課程、そして付属病院とはいえ本学の中核である病院においては、現代社会においてよく見られがちな、国家試験合格のためだけの4-6年の学修とその実行実践にのみ集中するのではなく、人間を物体でなく人間として扱い、人間を深く知り、歴史的人知をしっかり身につけた人材をお育てになりますようにと心から願います。

よき地の利を得た本学は、それが可能な実践の場として、日本と世界に対して必ずや大きな貢献をしていくであります。



6本の堂々たる丸柱がペディメントを支える本部棟

英知を集めた最高のキャンパス



副理事長
松田 剛明

杏林大学医学部教授。東京慈恵会医科大学卒業、東京大学大学院博士課程修了。ハーバード大学、コーネル大学に留学。専門は重症感染症、敗血症性ショックの病態生理・免疫反応、北米型 ER の管理・運営

井の頭キャンパスの建設にあたり私が描いた設計コンセプトは、1) シンプルな校舎の配置、2) 武蔵野にふさわしい緑豊かなキャンパス、3) 幅広い年齢層に親しまれる趣あるデザインでした。50年に一度あるかないかのキャンパス丸ごとの移転ですから、敷地が限られた都心の大学によく見られる高層ビルタイプの大学ではなく、3つのコンセプトを備えた欧米様式のキャンパスにしたいと考えました。このため、かつて留学したアメリカの大学を含めた10数校を視察



し、学問の府にふさわしい格調高いデザインに腐心しました。震災復興や東京オリンピックの決定などによる建設資材や人件費の高騰で曲折もありましたが、建物の総延べ床面積は八王子キャンパスより10%増となり、教育設備も充実させ、これからの杏林の教育に最適の場が出来上がったと自負しております。

都心から離れた利便性の問題に加え、景気低迷による「理高文低」の中で、本学も他大学の例に漏れず人文・社会科学系の学部の志願者減少が続いていました

が、今回の移転を契機に平成28年度入試ではそれらの学部の志願者は約55%増となりました。来年以降は単に「立地条件の良い場所に移転したから」というだけではなく、受験生から「杏林で学びたいから」と言ってもらえる、選ばれる大学にならなければなりません。そのためには、私達はここでどのような教育を行うのか、ということを示す必要があります。新キャンパスでは杏林大学が受け継いできた教育と人財育成に更に力を入れていきたいと思っています。

井の頭図書館 多様な学習活動や知的探究に広がる

井の頭キャンパス建設にあたり主眼を置いた1つが、キャンパスの中心にあるC棟(本部棟)の2階から4階を占める井の頭図書館です。

教員や図書館職員と共に、先進的な学習支援のサービスを行う国内外の図書館の視察調査を重ねました。そして井の頭図書館に、創造的な学習活動や知的探究の場、ラーニングコモンズが完成しまし

た。館内のWi-Fi環境や貸出PCを整備し、個人学習だけでなくグループ学習にも対応できる学習室やセミナー室など新たな学習空間を配置しました。

井の頭図書館は、学生だけでなく、教職員そして地域の皆さんが、知識を増やし、教養を高める理想の場となることを期待しています。



3階学習スペース。個別学習ブース、6人掛け学習机、長机を配置。個人学習室は扉付きの個室になっている

学びと共に学生の交流が深まる

保健学部の校舎A棟・B棟には他大学にはない最新の實習設備と実験施設が整っています。三鷹キャンパスとの距離が短縮され、實習面などにおいて医学部付属病院とより緊密な連携が可能になりました。

総合政策学部と外国語学部の校舎D棟・E棟は、アクティブラーニングに対応した演習室やPBL教室のほか、マルチメディア教室などの施設があります。

医学部が共同利用する教室が設置されたF棟には、交流プラザ、英語サロン・中国語サロン、ライティングセンター、食堂などの施設があります。4学部の学生、さらには外国人留学生との交流を深める場として機能することが期待されます。

このようにして関係者全員の英知が集結した最高のキャンパス、井の頭キャンパスが完成しました。



交流プラザをはじめ、キャンパスのいたるところで学生たちが集い語らうシーンが見られるだろう

「全ての人間のためにこの社会を少しでもより良くしようと不屈の努力を続ける人財」を育てたい



創業者 松田進勇

一国の文化の興隆、民族の繁栄は、一に教育の盛衰にかかっていると云っても過言ではない。私たちは、次の世代に現代の科学文化や精神文化を受け継がせる責務があると考えている。

そして、教育こそがこれを具現化する道であると確信している。

医学や保健学は人類の健康増進と福

祉に寄与する自然科学であり、医師をはじめとする医療職は、悠久な生命を伝える人類に奉仕する聖職である。

一方、現代は科学技術が進歩し、この世の中は複雑で流動的である。

そのような時代に、科学の進歩と人間との関係、あるいは科学の進歩が人間に与えるインパクトを考えると、自然科学だけでは不十分である。

大学が大学として存在するためには、もっと広い視野でヒューマンイズムや社会科学の問題についても考え、学ばなければならないのではないかと。

これは創業者の松田進勇が杏林大学設立にあたり、著書の中で述べた言葉です。

杏林大学が4学部、大学院3研究科、付属看護専門学校という今日の姿に発展し、50周年を迎えたことは、創業者松田進勇の信念に基づくこれらの言葉に多くの関係者が共感し、協力してくれたからだと思えます。

創業者の理念に従い、「全ての人間のためにこの社会を少しでもより良くしようと不屈の努力を続ける人財」をこの井の頭キャンパスで育てることが、私達のミッション(使命)だと思っています。

学問を通じて教養を深め、人間の幅を

広げ、他人を思いやる温かい心を持つ人財を育成することが、私がこの新たなキャンパスで実行したいことです。

そのために、この素晴らしいキャンパスを用意しました。

学生諸君は、上述した人となるべく、吸収した知識を元に、自分の考えを確立し、自分の言葉で他者を理解させることができるよう努力してください。

近い将来、諸君が人の役に立つ人財に成長し、成熟した大人として、このキャンパスから社会に羽ばたく日を楽しみにしております。



中国の故事に由来し良医を表す「杏林」。建学の精神「眞善美の探究」により、優れた人格を持ち、人のために尽くすことの出来る国際的な人材を育成する本学の教育理念。これが本部棟ペディメントのモチーフとなっている

井の頭キャンパス ツアー！



東門から見た本部棟（C棟）。マツ科の高木ホプシーやサクラ、ナラが芝生の敷かれたキャンパスプラザを囲むように植えられている。薄暮にはペディメントのステンドグラスが美しい青い光を放つ



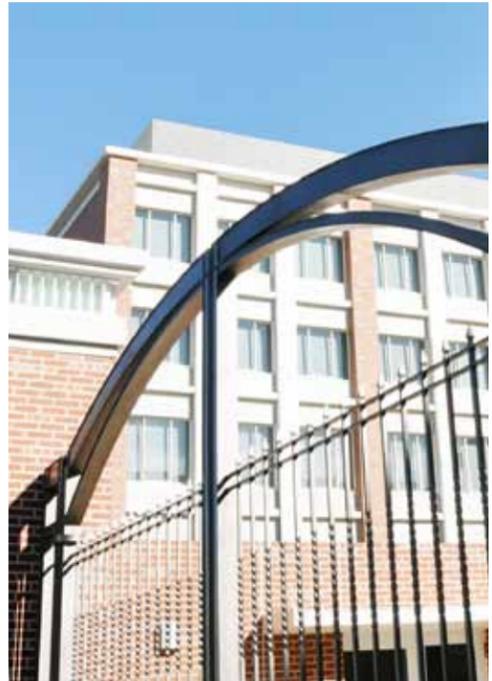
建学の精神「真善美の探究」にちなみ、ラテン語の“VERITAS（真）・BONITAS（善）・PULCHRITUDO（美）”の文字が刻まれたペディメント



C棟とD棟（総合政策学部・外国語学部研究棟）に囲まれた杏林プラザ。学生が行き交う賑やかな場所になるだろう



C棟東側のペディメント。ステンドグラスには「真善美」の三つの要素が相互に関連していることを三角形で表す大学のシンボルマークが描かれている



アーチ形の門扉と上部に明りが灯る門柱



正門脇に植えられた若木のあんず 各棟の場所、バス停などを示す案内サイン



正門

レンガ調で仕上げられた門柱の上部は石造りの照明になっています。門扉は美しいアーチを描く両開扉となっています。

正門を入ると両側には、あんずの木が植えられています。杏林の名は、中国に伝わる一つの故事に由来しています。三鷹キャンパスにも多くのあんずの木が植えられているように、本学がとても大切にしている木です。

本部棟とペディメント

キャンパスのシンボル、本部棟。ペディメントを支える最大直径1メートルの6本の柱は御影石で覆われ、重厚な雰囲気をつくっています。

建学の精神「真善美の探究」にちなみ、ペディメントには、ラテン語の“VERITAS（真）・BONITAS（善）・PULCHRITUDO（美）”の文字が刻まれています。そしてその中央には、月桂樹の葉と校章があしらわれ、周りには杏の実と葉が美しくデザインされています。

ペディメントは反対側にもあり、こちらは中央に大学のシンボルマークを模した直径約1.5メートルのステンドグラスがはめ込まれています。青色を基調としたステンドグラスは色の階調を変えて、美しい光を映し出しています。

こうしたペディメントのデザインは通常、原型作成・型どり・素材の流し込みといった工程でつくられます。今回は10分の1サイズのミニチュア版を作成し、計測処理をして、原寸サイズを作成する、最新の技法が用いられています。

緑溢れるキャンパス

キャンパスには20種を超える木々や草花が植えられています。正門から本部棟に続く広場「杏林プラザ」は明るい色のレンガが敷き詰められ、4区画に分けてイギリスナラやセンペルセコイヤなどが植えられています。

本部棟から東門手前のバスロータリーに続く「キャンパスプラザ」は芝生が敷き詰められ、ソメイヨシノ、アマノガワなどのサクラ類も植えられました。

東門のバスロータリーの中央とその周辺には、マツ科の高木で銀灰色の美しい葉が特徴のホプシーが枝を広げています。

キャンパスの歴史と共に、木々や草花の成長が楽しめるでしょう。

周辺遊歩道を整備

キャンパスの西側、南側、東側の遊歩道を整備しました。

南側の遊歩道は既存のケヤキ並木を活かしつつ、ライト付きベンチなどを設置しました。



南側遊歩道とベンチ

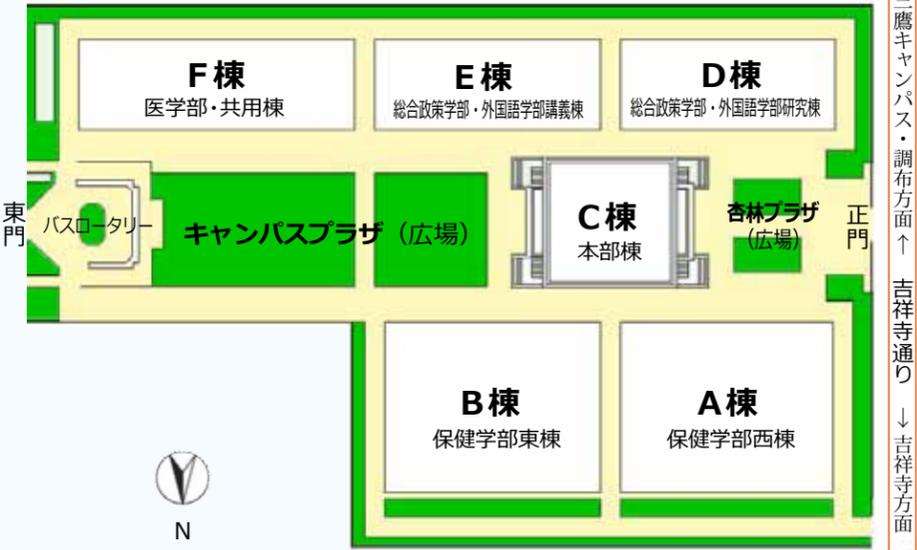
井の頭キャンパス

〒181-8612 三鷹市下連雀 5-4-1 / TEL 0422-47-8000 (代)

学部：総合政策学部、外国語学部、保健学部、医学部、大学院（国際協力研究科、保健学研究科）
敷地面積：約 3.47ha

各棟の主な構成

A棟	保健学部西棟 講義室、実習室、研究室（臨床検査技術・看護・臨床工・作業療法）、教員室
B棟	保健学部東棟 実習室、研究室、演習室（診療放射線技術・理学療法・救急救命・健康福祉）、教員室
C棟	本部棟 井の頭図書館、教務課、学生支援課、キャリアサポートセンター、入学センター
D棟	総合政策学部・外国語学部研究棟 講義室、演習室、セミナー室、研究室、保健センター、教員室
E棟	総合政策学部・外国語学部講義棟 講義室、マルチメディア教室、PBL 教室、大学院演習室
F棟	医学部・共用棟 食堂、売店、同時通訳演習室、CALL 教室、講義室、PC 室、交流プラザ、語学サロン、ライティングセンター、部室、トレーニングルーム、国際交流センター、総合情報センター



古典建築のような 3 層構成を持ったキャンパスのシンボルとなる外観の C 棟を中心に各棟が配置されている。どの建物からも芝生が敷かれた広場や植栽が目に入る。設計は(株)松田平田設計、施工は(株)竹中工務店

井の頭図書館

C 棟 2 階から 4 階が井の頭図書館です。入館ゲートは 2 階に 3 カ所あり、入館には学生証（職員証）が必要です。

2 階はグループ学習ができるラーニングコモンズフロアです。館内で貸し出しているノートパソコンはインターネットと Windows が使え、印刷は各階のプリント室のほか、学内のどのプリンタからでも可能です。

3 階人文・社会科学系フロアのサポートデスクでは、調べものやレポートの書き方など各種学習支援を行います。

4 階の自然科学系フロアには、国家試験問題集、医学・看護学系の参考書のコーナーもあります。

館内には資料や文献は MyLibrary（個人用の図書サービス Web ページ）で、他大学図書館から取り寄せることができます。館内の施設や利用できるサービス等は各階カウンターでも案内しています。

図書館は一般の方も利用できます。

C 棟 図書館フロア案内

4 階 自然科学系
学習席、サービスカウンター、プリント室、リフレッシュルーム
3 階 人文・社会科学系
学習席、個人学習室、AV ブース、サポートデスク、サービスカウンター、プリント室、リフレッシュルーム
2 階 ラーニングコモンズ
学習席、グループ学習室、セミナー室、PC ロッカー、プリント室、リフレッシュルーム、サービスカウンター



教室

最大 243 名を定員とする講義室、アクティブラーニング機能を整えた演習室・セミナー室・PBL 教室、PC・AV 等の設備が充実したマルチメディア教室・CALL 教室など授業形態に合わせた学習環境を整えました。

井の頭キャンパスでは、授業の出欠は壁面に据え付けられたカードリーダーで確認します。入室時に学生証をリー



D 棟セミナー室には可動式のサイドテーブル付きチェアが備わっている

ダーにかざすとリアルタイムで出席情報が登録されます。

各階の共用スペースにはテーブルと椅子、自動販売機やビルトインの浄水機能付き冷水器が設置されています。



食堂

F 棟 1 階の食堂は、内装に木や柔らかい質感のタイルが使われ、白木のモダンなデザインのテーブルや椅子が配置されます。

大きな窓からはキャンパスプラザを眺めることができます。席数は約 440 席。

食堂に隣接する売店では、教科書、専門書籍・学術雑誌、一般書籍のほか、文具・生活必需品・飲食品なども購入できます。



1 階にある食堂の大きな窓からは、芝生が敷かれ、サクラやナラなどが植えられたキャンパスプラザを見渡せる。4 月からは学生たちが集う賑やかな空間になる。日替わりランチや麺類も充実！



デジタルサイネージで情報発信

大学からのお知らせや講習会・説明会等のイベント情報など、キャンパス内の 11 台のデジタルサイネージで伝えます。

デジタルサイネージは、A 棟・B 棟 1 階エントランスホールに各 2 台、井の頭図書館内に 2 台、D 棟・E 棟 1 階エントランスホールに各 2 台、食堂に 1 台設置しています。



デジタルサイネージは、大学からの各種お知らせ、イベント情報、緊急時一斉同報などを発信します

課外活動施設、充実

F 棟 5 階は部室のほか、課外活動が行えるスペースのあるフロアです。ミーティングルームや、部屋の一部に鏡を設置しダンスや演劇の練習ができる多目的ルーム、楽器の練習ができる音楽練習室、腹筋・背筋マシン、パンチングマシンなどが揃うトレーニングルームがあります。



壁の一部が鏡張りの多目的ルーム（左）、右はトレーニングルーム

Moving global, staying local



学長
跡見 裕

1966年に創立された杏林大学は、本年50周年を迎えます。この節目の年に井の頭キャンパスが開設され、4学部3研究科が三鷹市に集結することになりました。異なった分野の学生がともに学ぶ環境は、交流の活発化をもたらし、より幅広い視野を持った人材の育成に繋がると期待されます。

受講できる講義の幅も広がります。各学部から「杏林推奨科目」が示され、これは他学部の学生が履修できます。特に新入生は「地域と大学」の講義を4学部の学生が同じ教室で学ぶことになります。

杏林大学は医学部がもっとも古い学部であり知名度も高いのですが、他の3学部も近年様々な努力で高評価を得るようになってきました。

保健学部は私学の中でもトップクラスとされており、今後も医学部と保健学部はより密接な関係を築き、教育・研究の質を向上させていけると思います。

総合政策学部はキャンパス移転を機に“グローバルキャリアプログラム”を立



ち上げます。これはグローバルに活躍できるビジネスパーソン育成を目指す新しい試みです。

外国語学部は本学が獲得している文部科学省のプロジェクト「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援」、「地(知)の拠点整備事業」、「高大接続推進事業」の中核を担っています。

このように、本学の大きな取り組みの一つがグローバル社会で活躍できる人材の育成です。ここ数年、本学では留学希

望の学生が激増しています。井の頭キャンパスに設置される、英語サロン・中国語サロン、英文での履歴書や応募書、論文などの書き方の指導が受けられるライティングセンター等の充実はこれらの学生を大いにサポートするでしょう。

“地域とグローバル”はまさに車の両輪です。Moving global, staying localを掲げて更なる飛躍を遂げる時が来ました。全学生、教職員一体となって進みたいと考えます。

学際教育とグローバル化への対応を強化



総合政策学部長
大川 昌利

専門分野に繋げる「ベーシック科目」

井の頭キャンパス移転後の総合政策学部では、これまで重視してきた学際教育を今日的視点に立って更に推進するとともに、グローバル社会に対応した実践的な教育に力を入れていく方針です。

まず学際教育の推進ですが、キャンパス移転に合わせて導入される新カリキュラムでは、初年次に社会科学の様々な分野への導入科目である「ベーシック科目」を幅広く学んでもらい、その結果を踏まえて2年次からの専門分野を決定し、その後は自らの興味関心に従って比較的自由に科目を履修することが可能になっています。「なりたい自分」を時間をかけて見出し、その「なりたい自分」になるために役立つ専門科目を自由に学べるという、総合政策学部ならではの教育ではな

いかと自負しています。さらに、他学部との連携強化によって、社会科学の枠を超えた学際性の向上にも努めていくことにしています。

グローバル化への対応 語学教育の充実とGCP

次にグローバル化への対応ですが、日本の社会自体のグローバル化の進展を踏まえ、学部における語学教育を一段と充実させるとともに、留学の機会も積極的に増やしていく方針です。また、卒業後に国際的な仕事に従事したい学生のために、GCP(グローバルキャリアプログラム)をスタートさせ、初年度からの英語の集中的学習に加え、留学や英語による専門科目の履修によって国際的社会人として活躍できる素地を養う教育を新たに展開する予定です。

キャンパス移転は、アクセスが大きく改善されるメリットがあります。実務の現場との交流による「実践力」の向上で、就職を意識したキャリア教育の効果を高めるとともに、地方自治体とのコラボレーションや地域社会でのボランティア活動等を通じ、社会教育の機会も一段と充実させていく所存です。

新たな学びや交流で自分らしさを引き出して



外国語学部長
坂本 ロビン

3学科の良い点を取り入れた教育

外国語学部は、英語学科、中国語学科、観光交流文化学科の全員が英語と中国語、それに世界に通じるホスピタリティマインド養成の実習を必修としています。国内外で外国人と円滑に仕事ができ、地域にも貢献できる人材を育成するための教育です。

これを進めるのが少人数教育と学生サポートです。少人数の授業の他、専任教員がアカデミックアドバイザーとして1人あたり学生14人を担当して、履修や勉強方法、留学、進路に関する相談等に応じ、4年間の大学生活をサポートします。

井の頭キャンパスでの教育

他学部生と共に学ぶ推奨科目や他学部履修制度を活用すれば、自分の専門以外の学びや考えがスパイスになり、知識が深まるでしょう。たとえば、推奨科目「ア

ジアン・ホスピタリティ」は、文化や生活習慣、社会問題をアジアの国・地域等と比較することでホスピタリティの概念を論理的に理解します。授業中のディスカッションでは他学部生の思考や発言に触れ、大いに刺激されるでしょう。

また、八王子キャンパスから移設される語学サロン、ライティングセンター、交流プラザは4学部の学生や留学生の異文化コミュニケーションの拠点になることを期待します。

一方、三鷹キャンパスが近くなることで、学んだ言語を使って付属病院でのインターンシップが可能になります。患者や家族への対応を通して、言葉とホスピタリティを身につける貴重な機会になります。

中国語学科では2年生の90%が留学しますが、学生には4年間で1度は海外を体験してほしいと思っています。一方、海外から留学生を受け入れる効果も大きく、留学生と同じ教室で学ぶことで、異なる文化や思想を知ることができます。

杏林大学で出会う、新しい学びや人との交流を通して、自分らしさを引き出してほしいと願っています。



企業経営学科の授業。会計・財務スキルをベースとして、複合的な視野で社会の諸問題を学ぶ



2年生の90%が留学する中国語学科。中国や台湾の名門大学で学び、異文化コミュニケーションの体験を積む

新キャンパスで始まる新たな学び 合同科目・推奨科目・他学部履修

キャンパス移転により、全学部が三鷹に集結するのを契機に、杏林大学は、「つながる4学部と広がる学習」を新たな教育方針に掲げ、学部を超えた学びについて検討してきました。その結果4月から、自らの希望で他学部の授業が受けられる従来の「他学部履修」に加えて、4学部の1年生と一緒に学ぶ「合同科目」と各

学部が他学部の学生に履修を勧める「推奨科目」を実施します。

これにより医学・保健医療系と人文・社会科学系の融合教育が大きく前進します。

1. 合同科目「地域と大学」

杏林大学は文科省のプロジェクト「地(知)の拠点整備事業」の採択を受けて、地域に根差した教育・研究、地域貢献を



昨年までの「地域と大学」では、地域の課題をテーマに、講義やグループでの実地調査・発表を行った。商店会活性化をテーマにしたプロジェクトで店主から話を聞く学生(左写真)と調査結果の発表(右)。文系2学部は合同で行っていた

世界に開かれた井の頭キャンパス



副学長
ポール・スノードン

東京では交通手段で「スイカ (suica)」カードを使っています。ロンドンではそれにあたるものは「オイスター (牡蠣)」カードと言っています。「スイカ」という名称が語呂合わせの一種となっていると同様、「オイスター」という言い方もそうです。一つは、18世紀のロンドンでは、当時豊富にテムズ川で獲られてい

た牡蠣がロンドンの一般市民にとって大好物でした。もう一つは英語には“The world is your oyster” (世界があなたの牡蠣ですよ) という慣用句があります。その意味は「世界中様々な可能性があって、君にも自由にそれを利用できますよ」のようなものになります。元々シェイクスピアの作品に出る言い方です。

そしてこの新しい井の頭キャンパスで学ぶ皆さんに言いたいのは同じことです。新キャンパスの君たちにとっては実に全世界が開かれています。

キャンパスの中では自分の専門外の勉強のチャンスがどんどん増えるし、もっともっと背景の多彩な同級生・同窓生と交流できるし、それに加えて増えつつあ

る留学の機会を自分のライフ・プランに組み込むことができます。

つまり、杏林大学の「オイスター」を使うと、ある一か所の市内移動だけではなく、世界中多くの国や地域でのグローバル行動が許されます。それによって自分の知識、自分のキャリア、自分の人生をさらに豊かにできます。ご活躍を期待しています！

People in Tokyo use a “Suica” card for public transport; in London, the equivalent is called an “Oyster” card. The name “Suica” is a kind of play on words, and so is the name “Oyster”. First, in 18th-century London, oysters were a popular dish among the ordinary people, who enjoyed the plentiful oysters that could be found in the River Thames at that time. Second, there is a common

saying in English: “The world is your oyster”, which means something like “The world is full of opportunities, and you are free to make use of them”. That saying comes originally from a Shakespeare play.

What I want to say to our students at the new Inokashira Campus is the same thing. At this new campus, the world is your oyster, because you have many, many opportunities, and those opportunities are increasing all the time: you can study more and more outside your own faculty; you can mix with a wider range of classmates from a wider range of backgrounds; you can more and more easily include overseas study in your plans. I must stress that for all Kyorin students the “Oyster” does not allow you to travel around only one city, but permits you to travel to many countries and territories and enrich your study, your career and your life. Good luck!

10年後を見据えた教育



保健学部長
大瀧 純一

4つの教育基本方針

保健医療分野で専門家を養成する保健学部では、次の4つを教育の基本方針として臨みたいと思います。第一に社会が求める人材に見合った教育、第二に社会をけん引する新しい技術・技能創出のための教育、第三にグローバル化に対応した教育、第四にグローバルな視点から地域社会の発展を支える教育です。

社会において求められるのは、社会人基礎力や基礎的汎用的能力を持つ人材と言われていますが、具体的には社会人として必要な課題発見能力や探求能力であり、倫理感を持って実行できる人材であります。

それらの人材に対する要求は年々、高度化・多様化してきています。

そのため保健学部での教育は、基礎的

な自然科学、人文・社会科学と語学の学力を身につけ、その上に立って専門分野を学び、応用できる柔軟な思考ができるように学修していくのを基本としたいと思っています。

今までは一般教養科目とみなされ、教養的な色彩の強い位置づけであった自然科学、人文・社会科学と語学は、グローバル化に対応した教育とグローバルな視点から地域社会の発展を支える教育には無くてはならない科目として捉えられており、専門科目と同様に重視して行きたいと考えています。

自学自習を支える学修環境

井の頭キャンパスでは体験型学習のできる設備をはじめとして、学生が徹底して学ぶことのできる環境の整備が行われ、学業に専念できる環境が整っております。授業の事前準備や事後展開を含めた学修時間の確保・増加が期待されます。

井の頭キャンパスにおいては教育課程の体系化、組織的教育の確立など全学的な教学マネジメントの改善を図りつつ、社会の期待に応え、10年後を見据えた教育を進めたいと思っています。

国際基準に即した新カリキュラムを開始



医学部長
渡邊 卓

臨床実習と英語教育に重点

医学部では、平成28年度の新入学生より、国際基準に準拠した新たなカリキュラムのもとでの教育を開始します。この新カリキュラムでは、従来に較べて臨床実習の期間が大幅に増えるとともに、臨床参加型実習の強化など、実習内容についても充実がはかられることとなります。臨床現場での実習の効果を最大限に引き出すためには、基礎および臨床医学の基本的知識および基本的診察技能が確実に身につけていることが必須ですが、この点についても十分に配慮した教育体制を構築します。

また、数年前より、6年次の海外でのクリニカルクラークシップに積極的に取り組んできましたが、今後は、欧米はもとより、アジアなどその他の地域におい

ても適切な医療施設を開拓し、学生がグローバルな視点を身につけるための機会の提供に努めます。この点とも関連しますが、医師にとって、今後益々その重要性が増すと考えられる英語の教育についても、現行の少人数教育の質をより高める努力を継続します。

総合大学の利点を医学教育に活かす

一方、今年4月には保健学部、総合政策学部、外国語学部の井の頭キャンパスへの移転がいよいよ実現することになります。これを好機と捉え、例えば保健学部との連携によるチーム医療に関する教育の充実や、語学教育ならびに広い視野を持った医師の育成を目的とした人文・社会科学教育の充実など、総合大学としてのメリットを医学教育に活かしてゆく方策を、3学部の協力も得て積極的に模索してゆきたいと考えております。

当医学部は今後とも、その教育理念である「良医の育成」という基本路線を堅持しつつも、グローバルな視点をも兼ね備えた、時代の要請に即応できる医師の育成に向けて柔軟に対応して参ります。



カナダ・バンクーバー研修。医療英語を学ぶ授業のほか、病院見学等を通して日加の保健・医療を学ぶ



海外の病院で行われたクリニカルクラークシップ。学生がグローバルな視点を身につける機会になっている

推進しており、1年生は全学部で必修科目「地域と大学」を履修しています。

2016年度からは、1年次前期の金曜日午後に開講され、15回のうち(医学部は全27回、看護学科を除く保健学部7学科は8回)3回の講義では4学部の学生の混成クラスで授業を行います。

また、地域課題をテーマとしたフィールドワークやPBL (Problem Based Learning: グループによる課題解決型学習) では、

各学部の特色を活かした学習活動が行われ、学生の興味や関心により、他学部での活動に参加することもできます。

2. 推奨科目

4学部の教育を広く学生に開放し、また学生の学問的興味・関心を尊重し、他学部が開講している科目の履修を奨励しています。その中で、特に各学部が他学部の学生にも履修を奨励する「推奨科目」を設定しています。

推奨科目

開講学部	科目
医学部	臨床医学入門 I
保健学部	救命救助法 (救急救命学科)、 基礎数学 (健康福祉学科)
総合政策学部	社会福祉政策論、生活と法、 政治心理学、 Global Career Development
外国語学部	日本語学概論、 アジア・ホスピタリティ

他学部で修得した「推奨科目」は、学生自身の学部・学科で修得した単位として認定される

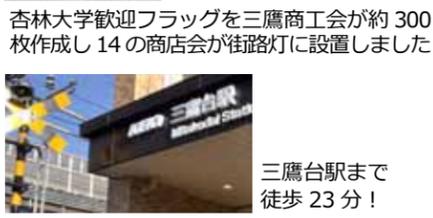
3. 他学部履修

さらに幅広い知識やスキルを身につけたい学生には、他学部に出向いて授業を受ける「他学部履修」の制度があります。

自分の専門以外の分野を体験するチャンスになります。

「他学部履修」で修得した単位は、学生自身の学部・学科で修得した単位として認定されます。

周辺情報



市内には国際基督教大学、ルーテル学院大学、東京神学大学が、隣接する武蔵野市・調布市・杉並区には、成蹊大学、亜細亜大学、東京学芸大学、桐朋学園大学、白百合女子大学、電気通信大学、東京女子大学、ほか多くの大学があります



神田川の水源、井の頭公園にある「井の頭池」を辿っていくとたくさんの橋が架かっています。みやした橋…八王子キャンパスで過ごした人には馴染みのある名前ですね



風の散歩道：三鷹駅から万助橋区間、玉川上水に沿って整備された歩道付近には、山本有三記念館、太宰治記念館、三鷹の森ジブリ美術館があります

三鷹中央防災公園・元気創造プラザ：三鷹市役所東側に約 2.0 ヘクタールの防災公園の整備が進んでいます。地下はスポーツセンターや公共施設が集約された多機能複合施設となります



通学情報

■バス通学 (2016年2月現在)
杏林大学井の頭キャンパス行きのバス路線が新設され、構内にはバス停が設けられました。いずれのルートも運賃 220 円 (通学定期券料金 1 カ月 7,290 円、3 カ月 20,770 円、6 カ月 39,350 円) です。
千歳烏山駅北口、仙川、調布駅北口より通学する場合は下連雀八丁目 (4月11日から野村病院に名称変更) 下車。

大学までの通学ルート (主な路線)

三鷹駅 (JR 中央線・総武線) 南口 小田急バス
[8 番のりば] 鷹63] 杏林大学井の頭キャンパス行
吉祥寺駅 (JR 中央線・総武線・京王井の頭線) 南口 小田急バス
[5 番のりば] 吉13] 杏林大学井の頭キャンパス行
千歳烏山駅 (京王線) 北口 小田急バス
[1 番のりば] 吉02] 吉祥寺駅南口行 野村病院下車 ※現 下連雀八丁目
仙川駅 (京王線) 北口 [仙川折返場] 小田急バス
[1 番のりば] 吉03] 吉祥寺駅中央口行 野村病院下車 ※現 下連雀八丁目
調布駅 (京王線) 北口 小田急バス
[13 番のりば] 吉06] 三鷹市役所経由吉祥寺行 野村病院下車 ※現 下連雀八丁目
[吉05] 野ヶ谷経由吉祥寺駅行

⚠️ JR 三鷹駅、吉祥寺駅方面へ向かうバスを利用する際は、学内バスロータリーから乗車しましょう。野村病院前バス停は来院患者さんやお見舞いの方が優先です。
・車内における大声での会話、飲食、携帯電話の使用等一般のお客様に迷惑となる行動はやめましょう。



■自転車通学

自転車通学が認められるのは、
①自宅から通う
②契約した駅周辺の駐輪場から通う
③三鷹市サイクルシェア制度利用
のいずれかに該当する学生です。
構内駐輪場を利用するには、必要書類を提出し、安全運転講習会を受講したあと配布されるステッカーを自転車に貼付する事が必要です。このステッカーが無い自転車は乗り入れできません。
自転車通学希望者は4月の説明会に参加してください。

🚲 井の頭キャンパス駐輪場情報
場所：B 棟 (保健学部東棟) 北側駐輪スペース
利用台数：994 台
利用料金：無料

🚲 三鷹市サイクルシェア
三鷹駅南口のさくら通り第2駐輪場で自転車を利用・返却します。
費用：1 カ月 1,000 円 (2016 年度)
利用人数に限りがあるので学生支援課に確認してください。



⚠️ 自転車は手軽で便利な乗り物ですが、道路交通法上、車やバイクと同じ車両とされており、違反行為には罰金が課せられます。自転車を利用する際は十分注意して運転してください。

卒業生リレー

社内ベンチャーを
立ち上げ活躍

さいとう まさと

齋藤 政人 (社会科学部 1996 年卒)

日清医療食品株式会社営業本部在宅配食サービス部長。2012年、在宅配食サービス「食宅便」事業を立ち上げる。現在同事業の商品開発、広告宣伝、営業企画、経営管理を行う



広告デザイン、メールマガジンの編集、商品の包装資材の仕入れ等、工作上、大学時代のバレー部仲間と関わる事が多い。本音が言える仲だからこそ、互いにプロとしての仕事ができます

現在の仕事

社会科学部（現総合政策学部）を卒業後、教員、出版社、広告代理店などを経験しました。「どんな仕事でもできる」という自信があり転職を重ねていました。30歳近くになり、一つの仕事を続けてきた人が積み上げた時間には敵わないと気づき、起業前の最後の勉強と思い、今の仕事に就きました。

新規事業「食宅便」を発売

企業は常に、次のビジネス展開を考える必要があります。社会が求めるもの、自社にできること、新規事業が自社の成長に繋がること、それらを突き詰めた結果、医療施設等に食事を提供する自社の事業を活かした、退院後の食事のケアに辿りつき、社内ベンチャーを立ち上げました。

商品開発、販路開拓、広報などゼロか

ら考えなければならず、前職までの経験や人のつながりが大いに役立ちました。そして「食宅便」はスタートから4年、順調に事業を拡大しています。

メニュー開発も妥協しない

スタート時に比べ、食宅便のメニューも、利用者も10倍以上に増えました。

おいしく、楽しく食べ続けられるよう、メニュー開発に力を入れています。基本は自分が食べたい食事であること。一見無理なリクエストにも応えるべく、管理栄養士は工夫を重ね商品を試作しています。食事制限が必要な方向けのケアシリーズは、おいしさを損なうことなく食事を楽しめるよう開発した自信作です。

在学中の思い出

真っ先に八王子キャンパスの体育館が浮かぶほど、バレーボール部の活動に打ち込んでいました。当時は約30名部員がいて、私は3年生の時にキャプテンを務めました。女子部の顧問をしていた保

健学部の田村高志先生や部員とは今も交流があります。昨年11月、キャンパス移転前に八王子の体育館に集まろうと呼びかけたところOB・OGが約50名集まり、懐かしい仲間とバレーボールをしました。

齋藤元秀先生のゼミや厳しかった黒田有子先生の英語の授業が印象に残っています。成績はともかく、知らないことを色々な角度や切り口で教えてもらえる授業が好きでした。気がつくと卒業時には250単位取得していました！

後輩へのメッセージ

大学が好きでほぼ毎日登校していました。大学に行けば先生や仲間に出会い、何かが起こり、動きだします。人とつながることで自分の視野は何倍も広がります。ぜひ、いろいろな人に出会うために外に出てください。社会では、自分で考え行動できる人が必要とされます。学生時代にできるだけ経験値を高めて欲しいと思います。

在学生リレー

「観光」の学びを活かして
様々な活動に挑戦

おおはた かずき

大畠 和希 (外国語学部観光交流文化学科3年)



学生生活

旅行プランナーという職業に関心があったので、外国語学部観光交流文化学科へ進学しました。

2年生の後半からぐんと勉強が忙しく、そして面白くなってきました。観光科目はもちろん、ゼミナール活動、就職に関する

知識全般を学ぶ「キャリアデザイン」の授業、オーストラリアでの語学研修などが印象に残っています。

被災地ボランティア体験

昨夏被災地ボランティアに参加しました。地元の方々から話を伺い、「復興させたい」「多くの人に知ってもらいたい」と

いう強い気持ちを感じました。また、被災者や遺族の方々の思いを自分なりに受け止め、追悼の意を込めて竹灯籠を作らせて頂きました。

震災で壊れた建物を後世に伝える震災遺構について、観光を学んでいるからこそ感じた複雑な思いも経験しました。

三鷹まち歩きガイドマップ作成

私はいま、「三鷹まち歩きガイドマップ」の作成にかかわっています。これは2年前から市と大学の間で進めてきたもので、私は、現地取材の打ち合わせが始まった昨年10月から参加しています。11月、私たち古本ゼミと総合政策学部の進邦ゼミの学生は井の頭キャンパスの最寄駅、

三鷹駅の南口から徒歩15分の圏内を実地調査し、この圏内の店舗や施設を紹介することにしました。

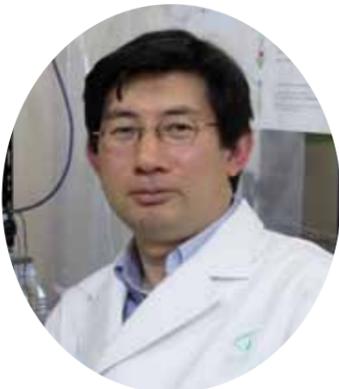
私はメンバー7人と吉祥寺通り、連雀通り、さくら通り周辺を担当し、1月中旬から取材しています。皆さん快く取材に応じてくださり、店のおすすめ商品をお土産にくださるなど温かさに触れました。三鷹市の方々が杏林生が来ることを心待ちにしていることもわかりました。私も4月から井の頭キャンパスに通うのがとても楽しみになりました。

マップは3月に完成し、杏林生や協力してくれた商店会に配布します。マップを手元に三鷹のまちを歩いてもらいたいです。

杏林見聞録 ⑥

やぎ じゅんいち

医学部 八木淳一 准教授



略歴：群馬県出身、日本大学歯学部卒業、同大学院歯学研究科歯科基礎系（生理学）修了。2002-04年米国・Oregon Health Science Univ. Vollum Inst. 留学

痛みの研究

痛みは人間が生きていくために大切な感覚で、ここ20年程の間に、「痛みの研究」は急速に進展してきました。

痛みを伝える感覚神経は、体に害を与える様々な刺激を感じ取るわけですが、近年、痛み刺激に反応する多種多様なセンサーが発見されています。例えば、皮膚温が43℃を超えるとカプサイシン受容体が熱を感知して神経に電気信号を起こして「熱い」という痛み感覚を起こします。この他、細胞の破壊を感じ取るセンサーや胸が締め付けられる狭心症の痛

第6回は、「痛みの研究」をしている医学部生理学教室の八木淳一准教授です。神経信号を電気現象として解析する電気生理学が専門。実験の計画、デザイン、プロデュースまで行っている研究室は、オリジナルの実験機器が所狭しと並んでいました。実験と検証を積み重ねる日々を支えるものや電気生理学の魅力について伺いました。

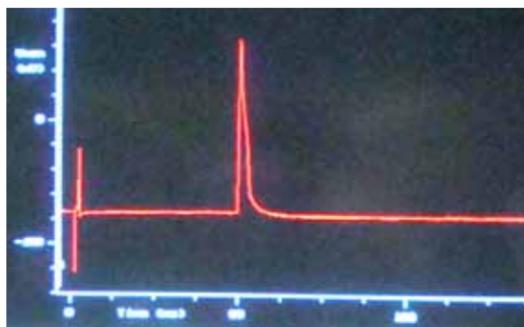
みを感じ取るセンサーなどもわかってきました。

一方、神経障害が引き起こす神経因性疼痛は、いわば警報器たる痛みの神経が壊れて起こる難治性疼痛です。最近、イモ貝の毒素がこの痛みに対して強力な鎮痛効果があることがわかって欧米では治療薬として試されています。私もこの毒素の作用メカニズムについて独自の実験技法で研究を始めました。

歯学から生理学の分野へ

父が歯科医でしたので歯科医になるつもりで日本大学の歯学部に進学しました。実は歯学と痛みの研究は密接で、歯学部生理学教室の専門が痛みの電気生理学でした。電気生理学というのは、神経が発する電気信号を解析する研究です。「神経の信号は物理学的に説明できる」という高校時代の物理の先生の言葉を思い出し興味を持ちました。3年生から研究室に出入りし、毎日実験の準備や手伝いをしながら実験を間近で見せてもらいました。今と違い、本業の勉強の方はかなり暇だったのがよかったです。

大学院時代には、研究室の角野隆二教授（当時）の勧めで、東京医科歯科大学



〔左〕コンピュータに映し出された活動電位（神経の電気信号）と〔上〕記録装置。「活動電位は何万回と見ているのですが、真夜中に一人、目的とする活動電位を記録できた時は、今でも何とも言えない感動がある」と八木先生は話す

の篠田義一教授（当時）のもとで2年間研究生として電気生理学の厳しい「修行」も経験しました。その後、運良く、電気生理学とシステム生理学がご専門の本学の平井直樹教授（当時）に研究の場を与えて頂き、現在は八木紫教授のもとで研究を続けています。

壁にぶつかるのが研究

遺伝子やタンパク質を研究する分子生物学は花盛りですが、手間も時間もかかる電気生理学は地味な分野かもしれません。自分ひとりで神経の電気信号を正確に記録できるようになるまでに10年かかったと思います。今は共同研究として防衛医大の小林靖教授（解剖学）に痛みの神経を解剖学的に解析して頂いていますが、電気信号の記録は今も徹夜をして

でも自分ひとりで行わなければなりません。それがまた電気生理学の醍醐味です。データは取れないことが多いので研究者には忍耐が必要ですが、一方で楽観性も必要かもしれません。失敗した時は、へ奮闘～努力の甲斐もなく、今日も涙の日が落ちる～♪と歌っています。電気生理学の実験では、日が落ちるところか夜が明けれることもたびたびです（笑）。

若い人たちへ

私は幸運にも学生時代とここ杏林大で一流の研究にふれ、研究の基礎を学ぶことができました。何かに興味を持てたのなら、努力が無駄になることに躊躇せず、それに向けてできる限りのエネルギーを注ぎこんでください。若い時の感動が、原動力や継続する力になります。

学部・大学院トピックス

医学部

北京大学医学部と協定締結・4月医学生派遣へ

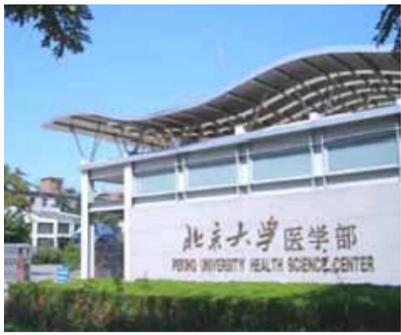
学術交流協定締結

杏林大学は昨年10月12日、北京大学医学部と学術交流協定を締結しました。これにより、両校の学生がそれぞれの臨床実習プログラムに参加できる機会を設けるほか、教職員および学生の交流、共同研究や情報交換などが進むことが期待されます。

この学術交流協定に基づき、今年4月には医学生1名が北京大学医学部の付属病院でクリニカルクラークシップを行います。

北京大学と北京大学医学部

北京大学は1898年創立の国立大学。2015年に発表された「アジアのトップ大学10」(英タイムズ・ハイヤー・エデュケーション)で第4位。北京大学医学部は、北京大学への吸収合併・分離等を経て、2000年4月、北京医科大学や医学関係機関を取りまとめで新たに開設された。



医学部における国際教育

クリニカルクラークシップ(診療参加型臨床実習)は6年次の4月から6月にかけて行います。

実習は国内外で可能で、学生は診療チームの一員として指導医師のもとに許容される一定範囲の医療行為を行い、医師として必要な知識、技能、態度の修得をめざします。

海外で実習を行うためには、5年次前期に行う総合試験やCBT(共用試験)で上位の成績を収める必要があります。

さらに、教員による語学試験を含む面談が行われ、これにより選抜された学生に派遣資格が与えられます。

医学部は5年次まで英語を必修科目としており、英語教育に力を入れています。また、海外でクリニカルクラークシップを行う学生には英語の補習も行っています。

派遣先一覧(2016年1月現在)

ノースショア保健大学、シカゴ大学エバンストン病院、ストーニーブルック大学病院(以上米国)、セントトーマス大学病院(イギリス)、国立台湾大学病院(台湾)、北京大学医学部(中国) 以上6施設



北京大学第一医院での実習を前に

医学部5年 孫 悠然

4月4日から29日まで北京大学第一医院心臓内科で実習を行います。

かねてよりクリニカルクラークシップは海外で、そして可能であれば中国で行いたいと思っていました。中国は両親の故郷で、幼いころ祖父母に会うため年に数回訪れていたからです。

中国で実習が行える病院を探していたところ、北京大学医学部が協定校になったことを知り、迷わず北京大学に出願することにしました。実習の許可をいただいたときはとても嬉しかったです。

実習では中国の最新の医療や急性期や療養型の医療の実際について学びたいと思っています。

そして日本と中国、日本とアジアという視点で医療や医療を取り巻く環境について自分の目で確かめるつもりです。循環器内科での実習が決まっているので、英語と中国語でこの分野の専門用語を中心に覚えているところです。

国際交流にも興味があります。実習以外でも積極的に行動して、交友の幅を広げるつもりです。

将来は医療を通して日本と中国の友好の懸け橋になるような仕事をしたいと思っています。

医師となる決意を新たに 第1回白衣式

新5年生を対象にした白衣式が3月26日(土)、三鷹キャンパス松田記念館で行われます。

白衣式は、4月から始まる臨床実習を前に、医師となる決意と自覚を新たに、

心構えを促すために行われます。式では教員が120名の学生に白衣を手渡します。

白衣式は学生の保護者にも公開で行われます。



保健学部

学んだ知識や技術を結実させる臨床実習



診療放射線技術学科実習



救急救命学科実習



臨床工学科実習

杏林大学病院や提携医療施設で実施

臨床実習は看護師、臨床検査技師、臨床工学技士、救急救命士、理学療法士、作業療法士、診療放射線技師等の医療従事者をめざす学生が、3年次後期から4年次前期にかけて、杏林大学医学部付属病院を中心に、近隣の基幹・中核病院、施設において、実習指導者(病院、施設等で働く医療従事者)や本学教員の指導のもとに行う重要な実習科目です。看護学や臨床検査学分野では臨地実習とも呼ばれています。

2~3カ月かけて医療の現場を学ぶ

臨床実習では、これまでの講義や演習、学内実習で学んだ知識や技術が医療現場で実際どのように実施されるかを学びます。

また、患者さんだけでなく、他職種の

スタッフとかかわりを持つことでコミュニケーション力を高め、チーム医療の現場で即戦力となる能力を身につけていきます。

最先端の医療現場を経験

杏林大学病院で行う臨床実習の特長は、最先端の医療現場を経験し、臨床での応用力、実践力を育てられることです。さらに、キャンパス移転により付属病院との距離が近くなるため、実習指導者およびスタッフと頻りに意見交換ができ、実習を有効かつ円滑に進められることです。

また、学生は日常的に臨床の場に接することが可能となり、緊張感を持って医療技術を学び、早々に医療技術者としての使命感を持てることも大きな特長です。

(保健学部教授/教務部長 丘島晴雄)

杏林大学病院実習概要

診療放射線技術学科

実習期間	12/1-2/18
実習時間	8:30-16:30
参加者	6名

高度救命救急センター、外来診療棟、放射線治療・核医学棟の撮影室、放射線治療室などで実習を行いました。診療放射線技師の指導のもと、X線CT、MRI、SPECTなど、最新の画像診断機器を用いた検査技術を学んだほか、医師、看護師とのチーム医療の現場を体験しました。

救急救命学科

実習期間	10/22-3/7 この間、6日勤・6夜勤を行う
実習時間	日勤) 9:00-17:00 夜勤) 17:00-翌9:00
参加者	48名(3年生全員)

高度救命救急センターで実習を行い、

医師の指導のもとに、救急医療に関する知識、救急救命処置に関わる技能等を学びました。毎朝行われるカンファレンスでは、救急患者の治療の全体像について理解を深めました。

臨床工学科

実習期間	1期) 11/2-12/8、2期) 1/4-2/16
実習時間	8:00-16:45
参加者	12名

中央手術部、集中治療室、腎・透析センター、高度救命救急センターなどで実習を行いました。各部門専属の臨床工学技士から人工心肺装置、人工呼吸器などの医療機器のメンテナンスや操作について学び、あわせて臨床工学技士の仕事について理解を深めました。

総合政策学部

公開オンライン講座を実施

総合政策学部の知を社会へ

社会の学習意欲の高まりに伴って近年、インターネットを活用して大学で生まれた知を社会に還元する、オープンエデュケーションの教育が注目を集めています。

総合政策学部では、誰でも、自分の時間に合わせて、無料の講義を受けられるオープンエデュケーションを通して、学部の特色である学際性を重視した教育内容を広く社会に知ってもらおうと、1月18日から4週にわたり、JMOOC(*)に大学初の公開オンライン講座を開講しました。

対象を、法学や経済学を学んだことのある社会人やこの分野に関心のある高校

生としたところ、受講登録者は約250名となりました。

オンライン講座の構想から準備を経て、開始までに約1年7カ月。制作には教員のほか学生約20名が携わりました。

* JMOOC (Japan Massive Open Online Courses : 一般社団法人日本オープンオンライン教育推進協議会) は、2012年に米国を中心に開発されたネット上で誰でも無料で受講できる教育サービスで、修了者には修了証が発行される。日本版は2013年10月より開始

動画撮影を担当して

総合政策学科3年 榎本潤

スタジオでの動画撮影を1人で担当しました。先生の話すスピードに合わせて資料をめくるなど、講義内容を分かりやすく伝えるために工夫を重ねました。

実際に講義をネットで見て、講座の制作に関わったという実感が沸きました。

オンライン講座「社会のしくみ 規制を学際的に考える」

JMOOC 第一弾の講座は、「規制と規制緩和」をテーマとしました。総合政策学部では、一つのテーマを巡り、複数の異なる専門分野の教員がそれぞれの視点を活かしたアプローチ手法を駆使し、政治・経済・社会・国際問題等を読み解く「学際演習」を教育の特色としています。

「規制と規制緩和」は、市場 vs. 政府という政治経済学の長年の課題であり、経済・法律・政治・国際関係・福祉・経営・会計など社会科学全般を扱っている総合政策学部にとり、その根本的な課題を“学

際的に”取り上げるのに最適なテーマです。

講師は、経済分野を西孝教授と小田信之教授、法律分野を岩隈道洋准教授、政治分野を木暮健太郎准教授、そして経営分野を糟谷崇講師が担当しました。

1回の講義は約10分で、1分野5回で完結します。20回のオンライン講義を終えたあと、2月21日には講義のまとめとして、受講生と教員が一堂に会し、ディスカッションなどをする反転授業が三鷹産業プラザで行われました。



「規制と規制緩和・経済学の視点」西教授の講義シーン。表やグラフを用いてわかりやすく解説

講義タイトルと内容

タイトル	講義内容
1週目 イントロダクション 規制と規制緩和 (10分×5回)	社会のしくみを知るために、なぜ規制と規制緩和に注目するのか、規制と規制緩和についての基本的な考え方を学ぶ
2週目 規制と規制緩和 経済学の視点 (10分×5回)	経済に広範な影響をもつ経済政策の例として労働市場の問題を、規制がどのように運用されているかについては金融産業をそれぞれ取り上げる
3週目 規制と規制緩和 経営学の視点 (10分×5回)	規制と規制緩和が新しいビジネスの登場に、どのような影響を与えるのか、航空旅客産業とLCCの成り立ちを事例として考察
4週目 規制と規制緩和 法学の視点 (10分×5回)	政府による規制が新しいビジネスの登場にどう寄与するのか講義。プライバシーと個人情報保護、マイナンバー法などを取り上げ、法による規制の側面について講義

学際教育の普及・促進へ

総合政策学部の学びの特色を表す「学際性」という言葉は、わかりにくいと思われる方が多かったかも知れません。

今回のJMOOCの講義では、社会のしくみは、1つの視点、1つの考えで成り立っているものではなく、多角的な視点で物事をとらえる“クロスオーバー”のもとで成り立っている事がよくわかったと思います。

このクロスオーバーが、「学際性」を表す言葉であり、考え方なのです。



反転授業の様子。講義の理解を深めるためにディスカッションが行われました

総合政策学部では、来年度以降もオンライン講座を開講し、本学の教育を広く紹介していく予定です。

(JMOOC 講座監督責任者/総合政策学部講師 糟谷崇)

外国語学部

留学視野に 協定校教員による特別講義



Juliette先生の専門は第二外国語としての英語教育。英語を母語としない学習者に英語を教えている

英国の文化と歴史を英語で学ぶ

協定校であるイギリス・チチェスターカレッジからJuliette Ryan (ジュリエットライアン)先生を迎え、1月6日から4日間、1・2年生を対象に、学生の語学力向上と英国文化・歴史等の理解を促進することを目的とした講義を計4コマ担当してもらいました。

英語学科2年生の授業は、「イギリス人とは?」という問いから始まり、「diversity」(多様性)をキーワードに話が進められました。Juliette先生は、英国に異なる文化的背景を持つ人たちが集まる理由について、今日欧州がかかえる社会的な問題に関連づけながら丁寧に説明しました。そして、「diversity」の持つ光と影をきちんと理解することが、国際

的な視野をもった人になる第一歩であると伝えました。また、英語学科1年生の授業では、長い間英国で留学生に英語を教えていた経験に基づいて、留学で得られることを具体的に紹介しました。半年後に留学を控えた学生からは、「留学の目標が明確になった」と感想が寄せられました。

外国語学部は「正しい異文化理解に基づく21世紀型世界市民の育成を目指す」ことを教育目標に掲げ、カリキュラム、留学プログラムを展開しています。

今回のチチェスターカレッジからの教員招聘は、現地の学校の授業を生で体験するだけでなく、教育目標を達成するための重要な役割を果たすものとなりました。(外国語学部准教授 倉林秀男)

協定校紹介・チチェスターカレッジ



2013年交流協定を結ぶ

2009年から、学生の留学先として実績のあったチチェスターカレッジ。

この留学実績に基づいて、2012年度からは毎年1名が現地の学費に相当する奨学金を受けています。

留学プログラム

チチェスターカレッジは1964年に設立されたイギリスの公立カレッジです。外国人のための英語教育に定評があり、スタッフには日本人カウンセラーもいます。

杏林大学では、9月から12月までの約3カ月間と9月から翌年2月までの約5カ月のプログラムがあります。ともに必修科目として、午前中は実践的な英語、午後は英語の応用力をのばす選抜クラスを受講します。選択科目には英語能力検定試験対策講座などの科目があります。カレッジでの学習状況に応じて帰国後大学で単位が認定されます。

留学実績

年度	留学者
2009	2名
2010	6名
2011	9名
2012	8名
2013	23名
2014	11名
2015	11名



チチェスターはイングランド地方南部、ウェスト・サセックス州西端の都市。ロンドンのピクトリア駅から電車で約1時間40分の場所に位置する

留学中はホームステイです。ステイ先はバスや電車で通学できる圏内を紹介いたします。費用は、燃油サーチャージ、保険料等別で約130万円から180万円です。チチェスターカレッジ留学に関する説明会は実施年度の4月から5月に行います。

(国際交流課)

文部科学省支援事業成果報告

グローバル教育 学生に徐々に浸透

本学が平成24年度文部科学省「グローバル人材育成推進事業」(現経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援)に採択され4年が経過しました。目標に掲げた外国語力スタンダード到達者は28年2月時点で昨年度の人数(25名)に到達し、海外留学者数も158名(同月同時点)と、24年度(97名)から増加しています。

グローバル教育を受けた学生たちの進む道は様々ですが、在学中の経験が大いに役立っているようです。

英語学科 八木橋宏勇准教授のゼミに学んだ及川裕大さんは、在学中はチチェ

スターカレッジに語学留学、ゼミではリーダー的な存在で、様々な活動に参加していました。卒業後、入社した川重商事株式会社では、アメリカ・中国・ベトナムとの取引を担当。まさに実践的な語学力が求められる現場で働いています。現在の仕事について及川さんは、「英語や中国語の必要性を日々感じています。在学中、一生懸命勉強してよかったです」と話しています。

杏林大学のグローバル教育「責任ある仕事を遂行できる日中英トライリンガル人材の育成」は徐々に社会に根をおろしつつあります。



金田一 秀穂 (きんだいち ひでほ) : 1953年東京生まれ。東京外国語大学大学院修了。中国大連外語学院、米イェール大学、コロンビア大学などで日本語講師。1988年より杏林大学外国語学部で教鞭をとる。

「じ」の法則

「じ」の法則というのをご存じだろうか。東京都心から西へ行く。「じ」のつく駅を通るたびに、気温が0.5度変化するというのだ。内陸に向かっていくので、夏であれば暑くなっていくし、冬であれば寒くなっていく。新宿を出ると最初に、こうえん「じ」を過ぎる。0.5度変わる。きちじょう「じ」で1度、こくぶん「じ」で1.5度、はちおう「じ」で2度変わる。科学的に立証されているとは思えないが、気分的にはとても納得できる。

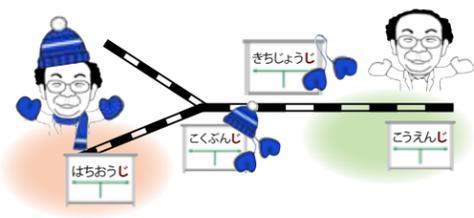
この四月、いよいよ移転する。都心と2度も違う八王子から、1度しか変わらない吉祥寺近辺へ移る。八王子も悪くなかったけれど、夏の暑さはうんざりさせられた。特に問題だったのは冬の雪。周辺の道がほとんど通行困難になり、交通機関がストップする。かろうじて近くまで行けても、坂の上にあるから、バスが登れなくなる。この季節、八王子キャンパスの者は、都心より2度も冷える「じ」の法則を恨めしく思うのだ。

今年は暖冬とかで穏やかだったけれど、年明け間もなく、やはり白い悪魔がやってきた。キャンパスは全面休講し、授業内試験を予定していた科目は、

時間のやりくりで苦心させられた。しかし、授業であれば、補講できる。学年末試験も、影響が及ぶのは学校の中だけのことから、繰り延べできる。困るのは入学試験である。地方からくる受験生は、宿泊の手配をまたしなくてはいけない。なんとしてでも、入試の日だけは、坂道にバスが通ってくれなければならない。それで、若手入試実施委員は、前の晩に坂の下にある宿舎に泊りこむことになる。雪が降ったときのための、雪掻き要員である。

私もかつて、若手だったころ、何回か前泊した。寝台がひどくきしむ。なぜかと言えば、あれは病院のベッドのお古であるからで、これを使っていた患者さんたちの声なのだ、などと、まことしやかな怪談が語られるのだった。

井の頭に移っても雪は降るし、それで支障をきたすこともあるだろうけれど、「じ」の法則は、あまり意識しないで済むことになるにちがいない。



在学生・高校生が参加 トライリンガルキャンプ



在学生と高校生の混成グループが異文化間の交流やコミュニケーションについて調査。結果を「外国人観光客を魅了する旅行企画商品」としてまとめて発表しました

本学は文科省「大学教育再生加速プログラム(高大接続)」に採択されました。日英中トライリンガルキャンプはこの一貫で行われています。

27年度は、8月24・25日の一泊二日、

多摩永山情報教育センター(東京都多摩市)で行われ、在学生19名と都内の高校生6名が参加しました。

トライリンガルキャンプは、在学生と高校生がグループワークや発表など能動的学習の要素を取り入れ、日本語、英語、中国語の重要性を再確認することを目的としています。

キャンプで参加者が取り組む課題は、観光、多文化共生社会、地域社会とのかかわりなど、本学の学びを活かしたテーマです。

28年度も3月下旬に実施する予定です。

健康ひとくちメモ 15

女性と妊娠と体重と



妊娠中の母体の体重増加の程度は母体と胎児の予後に影響します。母体の体重増加不良があると早産が増加し胎児も体重増加不良となります。胎内死亡や新生児死亡も増加します。

一方で過度な体重増加では妊娠高血圧腎症などの妊娠合併症が増加します。巨大児の頻度も増えるため、当然帝王切開での分娩も多くなります。妊婦健康診査の度に体重増加をチェックするのはこのような理由があるからです。

では理想的な体重増加はどれほどなのでしょう？ ただし妊娠前の体重には差があり、やせであれば母体貧血や胎児発育遅延、肥満があると先天異常、死産、妊娠高血圧腎症、早産、妊娠糖尿病や巨大児が増えることも知られています。従って妊娠前BMI(body mass index)を考慮した体重増加の目安を提示する必要があります。

2009年に米国医学研究所から妊娠前BMIの程度に対応した体重増加の目安が提示されました。例えば妊娠前BMIが18.5未満の「やせ妊婦」であれば12.5~18kgの体重増加が推奨され、BMIが30以上の「肥満妊婦」であれば5~9kgに抑えることが推奨されています。妊娠前BMIが18.5~24.9の「普通体型の妊婦」であれば11~16kgが推奨域となります。

安心された方もいらっしゃるかもしれませんが、「え〜無理〜、そんなに増やせない〜」と感じた方もいらっしゃると思います。あくまでこれらのデータは欧米のもので日本独自のものではありません。日本では8~14kgの体重増加に抑えることで種々の合併症が減ると説明されていますが、妊娠前BMIの程度に応じた体重増加の目安は提示されていません。今後の調査が望まれます。最近では産後に体重が増えたまま妊娠すると次子の死産や乳児死亡が増加するとの報告もあります。

このように妊娠前、妊娠中そして次子を期待する期間にも体重に気を配る必要ができました。こうなると女性にとって体重のコントロールは人生を左右するまさに一生のテーマと言っても差し支えないでしょう。「中庸は徳の到れるものなり」という故事があります。適当にバランス良く行動できる人が少なくなったことを憂いたものですが、体重においても中庸を心がけたいものですね。

(古川 誠志 : 杏林大学医学部産科婦人科・准教授)

ふるかわ せいし
宮崎医科大学卒業。米国ロチェスター大学循環器小児科留学。宮崎大学医学部附属病院、宮崎市医師会病院を経て、2015年より杏林大学医学部産科婦人科学教室准教授。



数字で見る杏林大学 15

29,950?

これは、八王子キャンパスから井の頭キャンパスへの引っ越しに使われた段ボール箱の数です。引っ越しには教員の研究室、実験室、職員の事務室、図書館の書籍類のほか教室やコンピュータ室、会議室の備品類も含まれます。

教員数176名の保健学部では、およそ10,800箱と実習室・実験室等も含むため多くなっています。教員数35名の総合政策学部では、およそ2,100箱、同じく49名の外国語学部では、約3,000箱が使われました。

荷物の中身は、教員は図書や雑誌等。約2,000箱となった事務室関係は、各種書類、ファイルが中心でした。図書館は約17万冊の書籍の運搬のため、12,000箱が必要でした。引っ越しは2月中旬から順次進められましたが、初めての経験に戸惑う場面もありました。荷物搬出のために1日に10台くらいの大きささまざまなトラックが校舎に横づけになります。2月中旬の再試験では、騒音を避けるため、接車する校舎のスケジューリングに苦労しました。また、荷造りの遅れている人には事務職員が個別に催促しました。

この移転により井の頭キャンパスがオープンし、杏林大学が50年間にわたり培ってきた教育力、研究力、地域貢献力にもとづき、新たな歴史が幕を開けます。



2016年度 大学行事・イベント (平成28年3月~平成28年11月) ※予定

3月12日(土) 井の頭キャンパス落成式	8月上旬~9月14日(水) 夏季休暇
3月15日(火) 卒業式・学位授与式	9月13日(火) 卒業式(秋)
4月10日(日) 入学式	9月15日(木) 入学式(秋)、授業開始
4月14日(木) 授業開始	11月11日(金) 創立記念日
6月上旬 杏会総会(保健、総合政策、外国語学部)	
7月29日(金)~ 定期試験	

*医学部の授業開始・終了、夏季休暇はこれとは異なります

編集を終えて……

- 新キャンパスを置く三鷹市の清原市長には原稿のお願いにご快諾いただき、本学に寄せる期待を熱く語っていただきました。学生・教職員が力を合わせて、これにお応えしたいと思います！また、学園をご指導いただいている井上先生と小塩先生からもお心のこもったお言葉をいただきました。一同厚く御礼申し上げます。本号は増頁の井の頭キャンパス特集号です。(有)
- 山の上にあった八王子キャンパスとは周囲の環境が一変する井の頭キャンパスでは、周辺地域の方々との交流も含めて、いろいろな意味で大学がよりオープンになることが期待されます。三鷹市や武蔵野市の方々から「キャンパスが移転してきてよかった」と言っていたように努力したいと思います。(有)
- 新約聖書に「新しい酒は新しい革袋に盛れ」という言葉がありますが、これからの時代を見据えた新キャンパスが出来た今、それに相応しい教育・研究を推進していかなければなりません。創立50周年の節目に居合わせた職員の一員として、学園の新たな歴史作りに向けて責任の重さを感じます。(ふ)
- 三鷹の商店街に「井の頭キャンパス歓迎」のフラッグがなびき、地域の方々から「素晴らしいキャンパスですね」とお聞きするにつれ、大勢の若者が集う地(知)の拠点に大きな期待が寄せられていることをひしひしと感じます。その期待にしっかりと応えていかなければ……(ふ)
- 好評の連載「金田一教授の研究室から」の似顔絵が第13号から新しくなっていることにお気づきでしょうか。医学部松村謙良教授がこの原画を描かれました。お二人は第4号で対談されました。(酒)